

理事会資料

令和7年5月8日(木) 定例理事会

意見交換

- (1) 三重県の周産期医療の現状について

承認事項

- (1) 母子・乳幼児保健委員会の開催について
- (2) 母子・乳幼児保健委員会第2回乳幼児保健部会の開催について
- (3) 日本医師会生涯教育講座の開催について
- (4) 本年度会費の減免申請について
- (5) 三重医報「ペンリレー」及び「勤務医コーナー」の合併について
- (6) 本会学校医研修会の認定について
- (7) 会員の入会・異動について
- (8) 講演会等への後援名義使用について
- (9) 日本医師会生涯教育制度に基づく講座の認定について
- (10) 表彰関係について(日本対がん協会賞及び朝日がん大賞・令和7年春の叙勲及び褒章)

協議事項

- (1) 令和6年度本会会務報告について
- (2) 重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業について
- (3) 社会保険診療報酬請求書審査委員会委員並びに国民健康保険診療報酬審査委員会委員候補者について
- (4) 第32回日本医学会総会登録推進委員の推薦について
- (5) 三重県医療保健部・子ども福祉部との意見交換会への提出議題について
- (6) 第2回郡市医師会長会議への提出議題について

報告事項

- (1) 母子・乳幼児保健委員会第1回乳幼児保健部会(4月24日開催)について
- (2) 三重県介護保険審査会委員会議(4月24日開催)について
- (3) 東海北陸地方社会保険医療協議会三重部会(4月25日開催)について
- (4) 第1回郡市医師会長会議(4月26日開催)について
- (5) 母体保護法指定医師研修会(4月29日開催)について
- (6) 第7回全国医師ゴルフ選手権大会チャンピオン戦(5月5日開催)について
- (7) 中部医師会連合第12回常任委員会(5月7日開催)について

2023年三重県出生数（市町村別）

市町村	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	前年比	市町村	月平均	2023年12月人口	出生率
県 計	896	787	854	703	915	792	853	887	860	810	817	823	9,997	92.0%	県 計	833	1,724,376	5.8
市 計	782	691	757	616	805	700	758	804	767	726	730	714	8,850	92.5%	市 計	738	1,512,536	5.9
郡 計	114	96	97	87	110	92	95	83	93	84	87	109	1,147	67.2%	郡 計	96	211,840	5.4
津市	136	145	126	109	140	120	141	153	162	124	145	147	1,648	96.5%	津市	137	269,215	6.1
四日市市	184	146	172	144	193	171	156	191	173	163	161	156	2,010	91.3%	四日市市	168	301,533	6.7
伊勢市	54	52	61	39	58	44	72	52	55	40	46	51	624	85.2%	伊勢市	52	118,528	5.3
松阪市	87	76	93	61	75	70	70	67	84	69	80	70	902	91.4%	松阪市	75	154,217	5.8
桑名市	69	57	62	63	64	66	77	74	73	59	68	66	798	92.3%	桑名市	67	136,116	5.9
鈴鹿市	129	102	123	84	116	105	112	109	114	93	104	97	1,288	100.1%	鈴鹿市	107	191,985	6.7
名張市	25	30	31	31	34	31	27	36	25	39	27	31	367	99.5%	名張市	31	73,907	5.0
尾鷲市	6	2	6	4	5	1	3	3	3	9	3	3	48	88.9%	尾鷲市	4	14,877	3.2
亀山市	19	19	12	19	25	24	18	31	28	34	18	28	275	90.5%	亀山市	23	49,559	5.5
鳥羽市	7	1	7	4	8	5	7	4	2	1	8	3	57	89.1%	鳥羽市	5	16,334	3.5
熊野市	3	3	2	1	8	4	5	7	5	5	3	5	51	76.1%	熊野市	4	14,785	3.4
いなべ市	27	24	22	17	23	16	24	25	14	30	19	15	256	85.9%	いなべ市	21	44,247	5.8
志摩市	7	6	13	6	10	12	15	10	5	18	12	13	127	81.9%	志摩市	11	42,610	3.0
伊賀市	29	28	27	34	46	31	31	42	24	42	36	29	399	84.2%	伊賀市	33	84,623	4.7
桑名郡	1	2	3	1	2	2	1	1	2	0	1	1	17	94.4%	桑名郡	1	5,762	3.0
員弁郡	21	7	14	10	13	16	14	4	10	13	19	13	154	78.6%	員弁郡	13	25,699	6.0
三重郡	41	40	42	35	48	38	38	34	33	36	40	46	471	91.6%	三重郡	39	66,646	7.1
多気郡	26	22	16	19	27	16	24	10	18	18	12	24	232	93.5%	多気郡	19	43,713	5.3
度会郡	20	14	13	15	16	9	11	21	17	10	10	14	170	93.4%	度会郡	14	39,105	4.3
北牟婁郡	2	2	7	3	0	3	5	4	5	5	2	4	42	107.7%	北牟婁郡	4	13,390	3.1
南牟婁郡	3	9	2	4	4	8	2	9	8	2	3	7	61	59.8%	南牟婁郡	5	17,525	3.5

2024年三重県出生数（市町村別）

市町村	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	前年比	市町村	月平均	2024年12月人口	出生率
県計	779	742	731	775	807	718	845	810	766	871	740	798	9,382	93.8%	県計	782	1,708,147	5.5
市計	692	657	647	711	699	628	743	716	678	782	662	706	8,321	94.0%	市計	693	1,498,760	5.6
郡計	87	85	84	64	108	90	102	94	88	89	78	92	1,061	92.5%	郡計	88	209,387	5.1
津市	118	124	120	122	124	98	136	125	115	145	132	117	1,476	89.6%	津市	123	266,603	5.5
四日市市	163	146	151	158	185	157	163	162	152	173	150	174	1,934	96.2%	四日市市	161	300,086	6.4
伊勢市	55	45	44	48	46	51	43	47	46	49	41	53	568	91.0%	伊勢市	47	117,071	4.9
松阪市	71	73	66	95	66	59	80	57	77	76	56	68	844	93.6%	松阪市	70	152,927	5.5
桑名市	68	46	62	56	47	50	60	72	63	80	71	63	738	92.5%	桑名市	62	135,131	5.5
鈴鹿市	95	95	87	107	96	100	116	104	94	116	88	101	1,199	93.1%	鈴鹿市	100	190,847	6.3
名張市	20	17	24	23	31	23	26	30	31	29	23	24	301	82.0%	名張市	25	72,905	4.1
尾鷲市	4	2	4	4	3	3	6	3	3	4	2	7	45	93.8%	尾鷲市	4	14,524	3.1
亀山市	18	30	34	26	28	18	35	23	31	24	31	30	328	119.3%	亀山市	27	49,379	6.6
鳥羽市	5	6	4	6	4	5	3	6	2	5	2	2	50	87.7%	鳥羽市	4	15,920	3.1
熊野市	5	6	2	2	1	2	4	6	4	1	5	6	44	86.3%	熊野市	4	14,468	3.0
いなべ市	23	16	18	20	23	22	21	24	24	29	15	21	256	100.0%	いなべ市	21	44,059	5.8
志摩市	7	10	8	9	14	11	13	19	11	15	13	14	144	113.4%	志摩市	12	41,606	3.5
伊賀市	40	41	23	35	31	29	37	38	25	36	33	26	394	98.7%	伊賀市	33	83,234	4.7
桑名郡	2	3	4	2	1	0	3	1	0	3	0	0	19	111.8%	桑名郡	2	5,698	3.3
員弁郡	17	13	10	7	20	19	18	17	10	17	8	14	170	110.4%	員弁郡	14	25,599	6.6
三重郡	38	31	37	27	42	42	40	38	40	34	32	44	445	94.5%	三重郡	37	66,495	6.7
多気郡	10	15	16	10	27	9	16	16	8	16	14	18	175	75.4%	多気郡	15	43,091	4.1
度会郡	7	17	7	10	10	9	10	9	21	14	10	11	135	79.4%	度会郡	11	38,280	3.5
北牟婁郡	5	4	2	3	3	6	2	7	2	2	5	1	42	100.0%	北牟婁郡	4	13,016	3.2
南牟婁郡	8	2	8	5	5	5	13	6	7	3	9	4	75	123.0%	南牟婁郡	6	17,208	4.4

三重県の周産期医療体制について

周産期医療体制

三重県では

- リスクの低い出産は「地域の産科医療機関等」
- 中等度以上のリスクの出産は「周産期母子医療センター等」で行うという適切な機能分担、連携体制を構築し、安全・安心な周産期医療を提供しているところ。

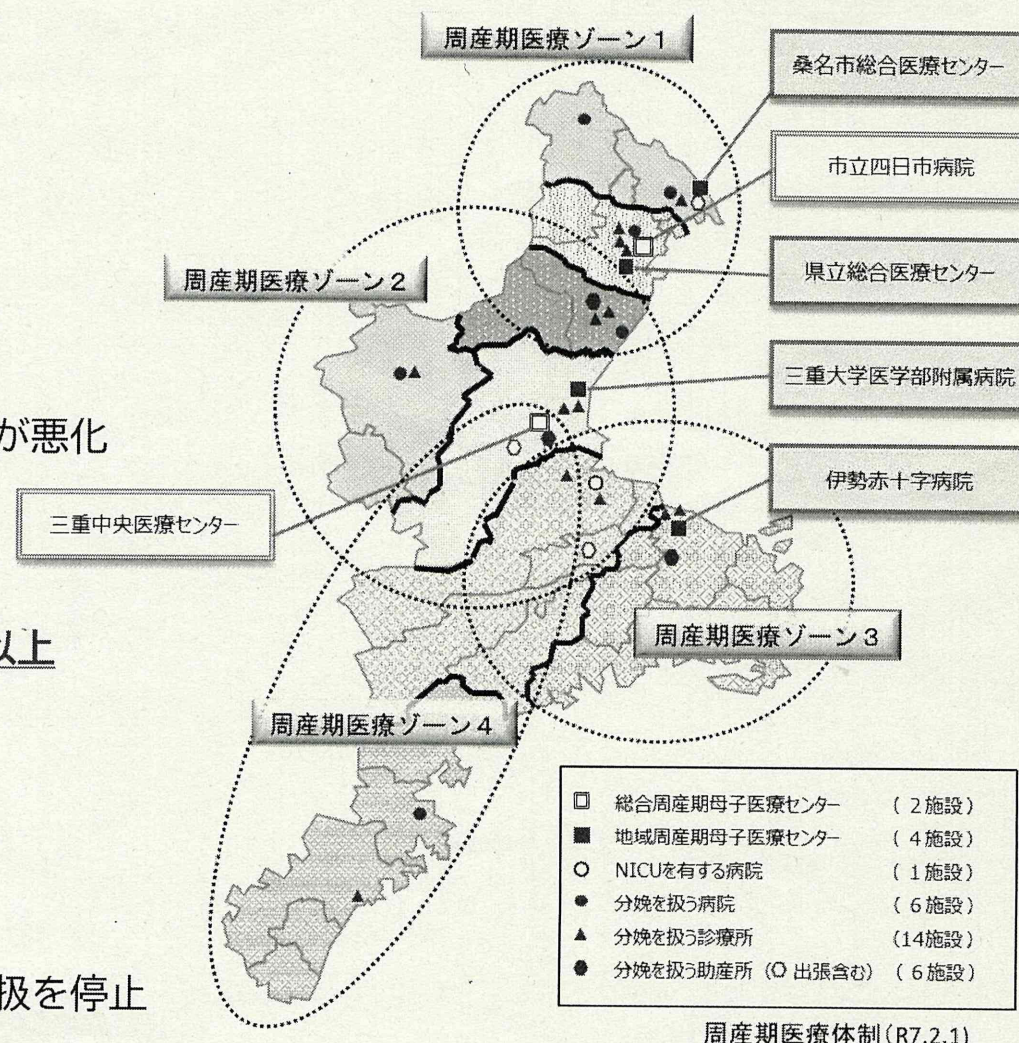
周産期医療体制の現状・課題

- ・出生数は過去最少を更新するなど、産科医療機関の経営環境が悪化
- ・産科医療機関の施設数は、13年間で13施設の減少
平成24年4月:39施設 → 令和7年4月:26施設
- ・産婦人科・産科・婦人科の診療所勤務医師の34.3%が70歳以上

伊賀地域(伊賀市・名張市)

- ・伊賀地域では、分娩を取り扱う医療機関が3カ所であったが、
- ・名張市内の1診療所では令和7年1月15日、
- ・伊賀市内の1診療所では令和7年3月末日をもって、分娩の取扱を停止
⇒令和7年4月以降、伊賀地域での分娩取扱施設は1施設のみとなる

県内の周産期医療体制

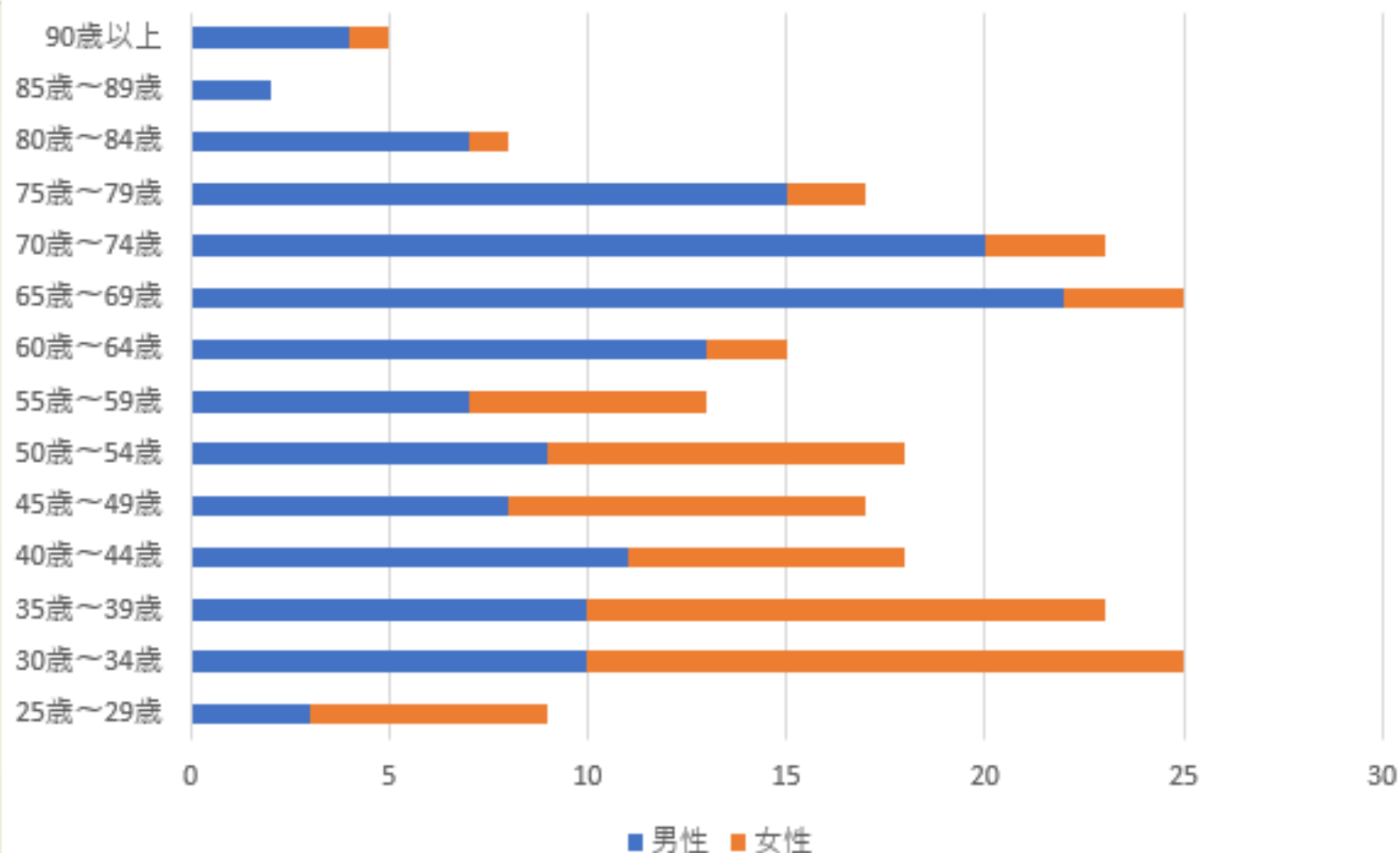


周産期医療体制(R7.2.1)

三重の周産期医療体制あり方検討会(仮称)の構成員候補
(参考)

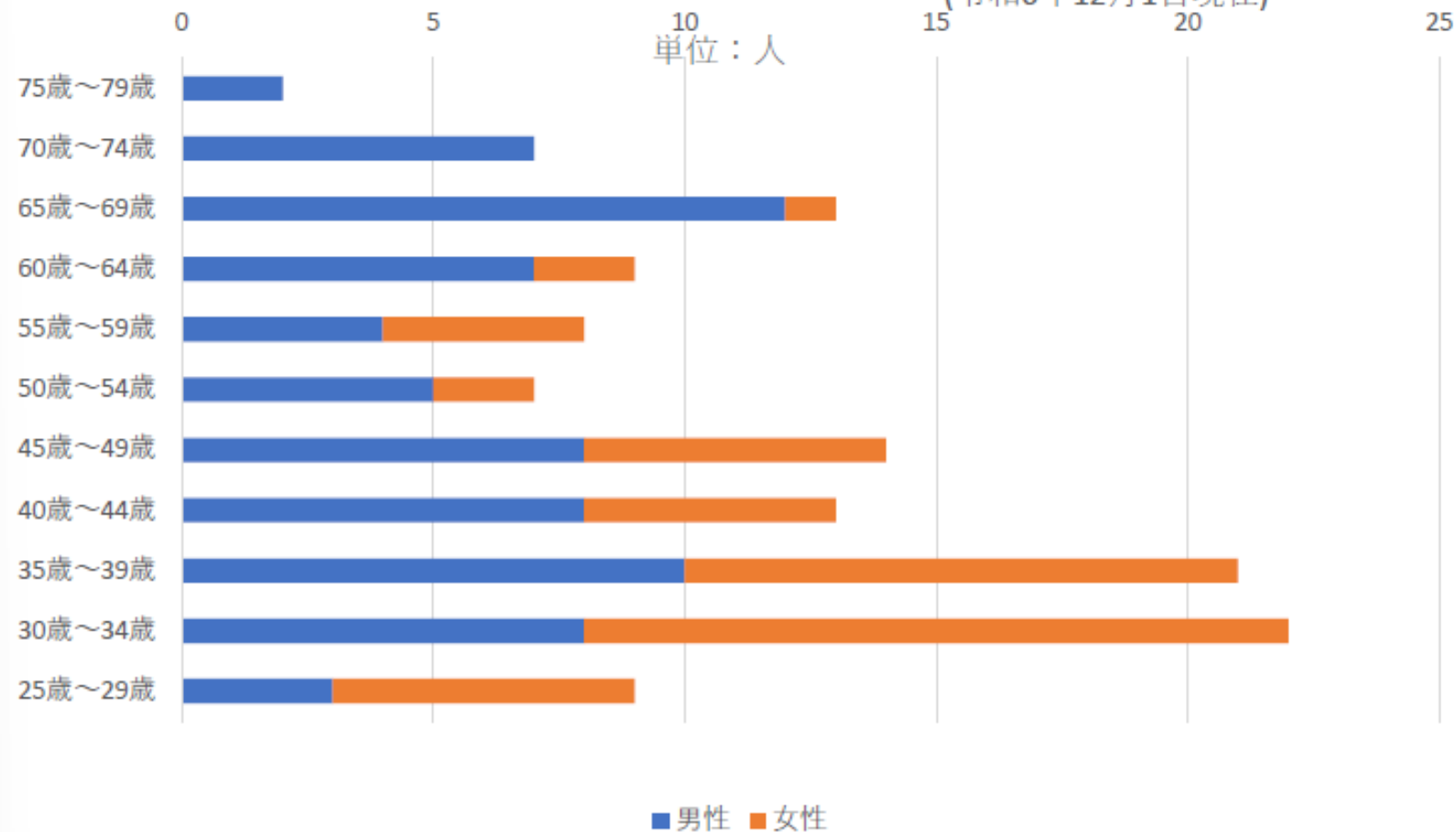
医療審議会周産期医療部会 構成員(17名)			三重の周産期医療体制あり方検討会(仮称) 構成員(案)(15名程度)		
所属団体	役職	氏名	所属団体	役職	氏名
済生会(松阪総合病院)	確認中	池田 智明	済生会(松阪総合病院)	確認中	池田 智明
伊勢赤十字病院	第一小児科部長	一見 良司	三重県小児科医会	会長	落合 仁
独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター	臨床研究部長	小川 昌宏	三重県産婦人科医会	会長	小畑 英慎
三重県小児科医会	会長	落合 仁	国立大学法人 三重大学	大学院医学系研究科 産科婦人科学教室教授	近藤 英司
三重県産婦人科医会	会長	小畑 英慎	公益社団法人 三重県看護協会	会長	谷 眞澄
公立大学法人 三重県立看護大学	学長	片田 範子	国立大学法人 三重大学	医学系研究科長・医学部長 兼医学系研究科小児科学教授	平山 雅浩
国立大学法人 三重大学	医学部附属病院 周産母子センター講師	小池 勇樹	三重県消防長会	四日市市消防本部 消防救急課 副参事兼救急救命室長	堀 善哉
国立大学法人 三重大学	大学院医学系研究科 産科婦人科学教室教授	近藤 英司	市立四日市病院	小児科副部長	牧 兼正
地方独立行政法人 三重県立総合医療センター	診療部長兼小児科部長 兼周産期母子センター長	杉山 謙二	独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター	総合周産期母子医療センター 部長	山口 恭平
公益社団法人 三重県看護協会	会長	谷 眞澄	一般社団法人 三重県助産師会	代表理事	●● ●●
公益社団法人 三重県医師会	副会長	野村 豊樹	未確定 (産科医の開業医の方を想定)	●● ●●	●● ●●
一般社団法人 三重県助産師会	代表理事	濱地 祐子	●●市(※)	市長	●● ●●
国立大学法人 三重大学	医学系研究科長・医学部長 兼医学系研究科小児科学教授	平山 雅浩	●●市(※)	市長	●● ●●
三重県消防長会	四日市市消防本部 消防救急課 副参事兼救急救命室長	堀 善哉	●●町(※)	町長	●● ●●
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	産婦人科部長	前田 佳紀	●●町(※)	町長	●● ●●
市立四日市病院	小児科副部長	牧 兼正			
独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター	総合周産期母子医療センター 部長	山口 恭平			

三重県産婦人科医会会員年齢分布表
(令和6年12月1日現在) 単位:人



年齢別 分娩取扱施設に勤務する医師数

(令和6年12月1日現在)



(注) 分娩取扱施設に勤務する医師の合計であり、
実際に分娩に従事している医師数ではありません。

三重県内分娩取り扱い施設

2020年 1月 ～ 2025年

施設数 35→26

no.	医 療 機 関 名	〒	住 所	産婦人科責任者
1	小塚産婦人科	511-0821	桑名市大字矢田419-1	小塚 良哲
2	桑名市総合医療センター	511-0061	桑名市寿町3-11	平田 徹
3	ヨナハ産婦人科小児科病院	511-0838	桑名市和泉イノ割219	与那覇 尚
4	三重北医療センターいなべ総合病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜771	川村 真奈美
5	川越伊藤医院	510-8122	三重郡川越町大字豊田299-1	伊藤 雄幸
6	おばたレディースクリニック	512-0934	四日市市川島町6842-1	小畑 英慎
7	守屋レディースクリニック	510-0012	四日市市羽津4661	守屋 光彦
8	四日市レディースクリニック	512-0932	四日市市小生町字西川原800	小林 良成
9	県立総合医療センター	510-8561	四日市市大字日永5450-132	谷口 晴記
10	市立四日市病院	510-8567	四日市市芝田2丁目2-37	長尾 賢治
11	みたき総合病院	512-0911	四日市市生桑町菰池458-1	与那覇 齊
12	鈴木レディースクリニック	513-0835	鈴鹿市平野町7740-2	鈴木 英夫
13	白子ウィメンズホスピタル	510-0235	鈴鹿市南江島町9-15	二井 栄
14	宮崎産婦人科	513-0844	鈴鹿市平田2丁目1-8	宮崎 顕
15	宮村産婦人科	519-0116	亀山市本町3丁目8-7	宮村 吉麿
16	セントローズクリニック	514-0042	津市新町1丁目5-16	紀平 正道
17	ながたレディースクリニック	514-0815	津市大字藤方150	永田 光英
18	ヤナセクリニック	514-0016	津市乙部5-3	柳瀬 幸子
19	三重大医学部附属病院	514-8507	津市江戸橋2-174	池田 智明
20	三重中央医療センター	514-1101	津市久居明神町2158-5	前川 有紀
21	河合産婦人科	515-0812	松阪市船江町3-3	河合 美良
22	南産婦人科	515-0043	松阪市下村町1041	南 仁人
23	松阪中央総合病院	515-0818	松阪市川井町字小望102	出口 月雄
24	済生会松阪総合病院	515-8557	松阪市朝日町1区15-6	高倉 哲司
25	ナオミレディースクリニック	515-0846	松阪市深長町823	野田 直美
26	小原産婦人科	516-0072	伊勢市宮後町1丁目5-3	小原 茂
27	菊川産婦人科	516-0071	伊勢市一之木5-15-5	菊川 東
28	寺田産婦人科	516-0007	伊勢市小木町185-1	寺田 厚
29	玉石産婦人科	516-0804	伊勢市御園町長屋2049	玉石 好彦
30	伊勢赤十字病院	516-8512	伊勢市船江1丁目471-2	山脇 孝晴
31	尾鷲総合病院	519-3653	尾鷲市上野町5-25	野村 浩史
32	大石産婦人科医院	519-4325	熊野市有馬町201	大石 基夫
33	中産婦人科 緑ヶ丘クリニック	518-0836	伊賀市緑ヶ丘本町761	中 義章
34	森川病院	518-0854	伊賀市上野忍町2516-7	森川 文博
35	武田産婦人科	518-0701	名張市鴻之台1-144	武田 守弘

分娩取り扱い医療機関

2020	病院	14	有床診	21
2022	病院	13	有床診	20
2023	病院	13	有床診	17
2024	病院	13	有床診	15
2025	病院	13	有床診	13

三重医報「ペンリレー」及び「勤務医コーナー」の合併について(案)

【三重医報 執筆者リレー形式コーナーの現状】

- ◎ ペンリレー（昭和41年開始：本会**会員限定**でリレー）
- ◎ 勤務医コーナー（平成元年開始：**勤務医限定**でリレー）

【検討理由】

勤務医コーナーは以前からリレーが繋がらず途切れる事が多い。また、三重医報の電子化に伴い（手元に冊子が届かず）、会員間でのバトンも繋がりにくくなる（現在ペンリレーが途切れている）ため、**リレー対象者の限定をなくしたい**。

【ペンリレーと勤務医コーナーの合併（案）】

- ① リレー形式コーナーを「ペンリレー」に統一し、執筆者を「**県内在住または県内で医療に従事する医師**」とする（**入会状況・勤務形態を問わない**）。
- ② 現在リレーが続いている勤務医コーナーの7月号に指名される先生分からコーナー名を「ペンリレー」に変更する。

【参考：郡市医師会 持ち回りコーナー】

- 学術（パス可能、自由投稿も可）
⇒三重大学を除く郡市持ち回り、執筆者が見つからない場合は掲載しない。
- ここがおすすめ～私の地元を紹介します～（平成23年開始、パス可能）
⇒三重大学を除く郡市持ち回り、執筆者が見つからない場合は掲載しない。
- 北から南から一郡市医師会だよりー
⇒全郡市持ち回り、必ずご執筆いただく。

【参考：自由投稿コーナー】

- 随筆：テーマ自由、2400字程度
- 紀行文：旅行記など、2400字程度
- 会員の声：医師としての意見など、2400字程度
- 医局通信：大学医局・病院医局からの情報提供など、2400字程度 等

ペ
ン
リ
レ
ー
(1)

偶 感

野 呂 み ち 江
(松 阪 市)

ラッパの席上、親しい友人達と医師のあり方、医の倫理の問題が話題となり二十数年ぶりに会った親友のSさんとは夜を徹して語り合った事だったが、彼女は地方公立病院小児科に、病院創立当時から今日まで約三十年の長きに涉って勤務し、戦時中は病院唯一人の医師として、激務に耐え重責を果し、今尚患者を思う真情は、言葉の端々に窺うことが出来、在学時代の

医として、又ある者は勤務医として、それらの分野で地味な活動が続いている現状を「東銀座だより」の筆者は、存じないのだろうか。近時、名医又は良医が云々され名医の名の羅列してあった週刊誌のあった事も記憶にあるが、何を根拠に名医とするのだろうか。高度に近代化された医学の陰には大切な人間関係の形成が忘却されそれが誤った医療へ繋がり、厳しい批判的となるのではなからうか。組上に載せられた女医のあり方に就いて、三重県医師会議員の御意見を伺い度いと思えます。

次回指名
伊勢市二俣町
岩田ひで先生

一四四九病院

麻 生 国 雄

(2) ドクトル ブウトと

ドクトル イワン

彼女は私が一四四九病院に連れてこられた昭和二十一年の初めの頃には未だ病院には働いていませんでした。

何時、何処から彼女がやって来たのか、今では判り思ひ出すこ

よう、もの静かな女でした。

ユウリヤ、カルボンナがイングリド、バークマンとすれば彼女はむしろクレタ、ガルボに近い感じのする女で年頃はもう三十才を越えていた様でした。

彼女は純粋のスラブロシア人ではなくウクライナ出身でした。

ロシアには「ヤア、ニイロスキ」と云う言葉があるのですが、

(前頁よりつづく)

鄙びた平屋建が数棟雄雄生える中にシヨンボリ佇んでいる。周囲の草むららがそのまき駐車場に活用されるので別に不都合も感じられない。誠に簡素な立住まいなのである。之れが名付けて大自然郷とした田舎かも知れん××××

それにつけても思ひ出すのは去年の夏の或る日の事だった。うだる様な酷暑の昼下り突然聞き馴れぬ大音聲にて目を醒まし睡眠もろろと玄関先に出て見れば珍客志摩の国は波切の豪族和氣国手の訪れであった。口ク「只今往診中の立札が出たからドロー七昼寝の真最中だろ」と思っていたらヒツ

編 集 後 記

台風四号も三重地方では幸大したこともなく済み、今年の梅雨は時々かりとした上天気を間にはさんで、ますますと云うところですか。

私達が編集担当後始めて各モニターの先生方をお願いしましたが多数の御投稿を戴き、御協力の賜物と深く感謝しています。ペンリレーも始まりました。バトンを受取れた先生宜しくお願ひします。

各地のうまい物便りも沢山集まりました。ドライブの折な御家族お揃いで味覚をおたのしみ下さい。

(麻 生 本)

尚原稿には必ずみだしをつけ下さい。